

●生活相談員 役割発揮のためのスキルアップ研修

生活相談員・業務の見える化と7つの専門機能

研修の
ねらい

来年は3年に一度の介護保険制度の改正があります。また地域包括ケアシステムの構築に向け、それぞれの事業所では、より一層の多職種連携が求められてきます。そのような中で生活相談員もケアチームの一員として、地域と施設の間に立ち利用者への直接的・間接的支援が期待されています。この研修では、これからの現場を支えて行くための生活相談員の基本となる専門機能とその役割について解説していきます。自分の役割を明確化できずに葛藤してしまうことが多い相談員について、基本を踏まえながら また根拠ある研究知見に触れながら、いま期待されている重要な専門性について一緒に確認していきましょう。

*この研修は、これまで多数の生活相談員の皆さまに、ご参加頂いている基本研修です。



開催日程

| | |
|----|---------------------------------------|
| 日時 | 2017年8月30日(水) |
| 時間 | 10:30~16:00 |
| 会場 | 新潟ユニゾンプラザ ＜新潟市中央区上所2-2-2＞ |
| 料金 | 7,500円(税込) ※事前申込の上、当日現金でのご精算となります。 |

研修内容

- 生活相談員の業務範囲はどこまで？
- 相談員業務にはチャンネルの切替えが必要
- 相談員業務のカテゴリー仕分けによる整理
- 相談員に期待される7つの専門機能とその活用場面
- 相談員の周辺業務をどう中核業務に関係づけ、優先的に仕事を組み立てるか！
- 相談員の二側面「ジェネラリスト」と「スペシャリスト」
- 相談員に必要な仕事力と役割発揮のコツ
・時間活用力 ・総合調整力 ・洞察力
- 相談員が陥りやすい困難事例と解決策

講師：梅沢 佳裕(うめざわ よしひろ)

福祉と介護研究会35 代表

介護専門学校で助教員を経て、特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター相談員を歴任し、デイサービスやグループホームの立上げに携わる。現在は、介護士・相談員・ケアマネ向けスキルアップ研修など多数の講演活動を行なっている。東北福祉大学社会福祉学部、日本福祉大学大学院社会福祉学専攻修了、社会福祉学修士、社会福祉士・介護支援専門員・福祉住環境コーディネーター
主な著書・監修／「生活相談員その役割と仕事力(雲母書房)」、「通所介護計画のつくりかた」(雲母書房)など

■主催：福祉と介護研究会35

■問合せ：受付係 盛岡市三ツ割三丁目8-16

TEL:019-662-9488 FAX:019-658-8029

Mail: fukuken-jim@future.ocn.ne.jp

ホームページ <http://fukuken.org>

▼お申込み…下記にご記入の上、このままFAXにてご返信ください。

- ・お申込み時に募集を締め切りした際は、お電話にてご連絡いたします。
- ・FAXの他、電話・メールでも受付しております。

※お申込み頂いた方には、受講日の一週間前までに郵送にて受講票をお送り致します。
万が一、お手元に届かない場合は、確認のご連絡をお願いします。

事業所名

ふりがな
①氏名

様

②氏名

様

御住所 〒

(事業所 ・ 自宅)

TEL

FAX

お申込はこちらFAX番号：019-658-8029 (FAXは24時間受付)

※今後FAXがご不要の方は、お手数ですがFAX番号をご記入の上、返信をお願いいたします。
 FAX不要(チェックをお願いします) FAX番号()